

お知らせ

「加齢による褥瘡、足潰瘍、軟部組織障害等における組織物性の病理学的、解剖学的変化の検討」
へのご協力をお願い

～平成26年4月1日～平成27年3月24日までに岡山大学に献体されたの御遺族の方へ～

研究機関名 岡山大学

所属 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科生体制御科学専攻生体機能制御学講座人体構成学分野

研究責任者：職名 教授 氏名 大塚 愛二

所属：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科生体制御科学専攻生体機能制御学講座人体構成学分野

委員会報告者：職名：助教 氏名：百田 龍輔

所属：岡山大学歯学部人体構成学

職名：技術専門職員 氏名：小見山 高明

所属：岡山大学医学部人体構成学

職名：技術専門職員 氏名：大杉 博幸

所属：岡山大学医学部人体構成学

職名：技術専門職員 氏名：檜崎 正博

1. 研究の意義と目的等

1.1. 研究の意義：

加齢に伴う様々な身体の障害を有する高齢者を物理的に支えるために、体表臓器である皮膚・皮下組織は、体を支える際の外力が最初に加わる臓器として重要な役割を果たしています。しかし、予期しない力が過剰・継続的にかかった際には褥瘡や潰瘍などの障害を引き起こします。このように皮膚は重要な器官であるにも関わらず、その加齢による組織物性の変化についての知見はあまりありません。この変化を弾性線維・コラーゲン線維に注目して、それらを定量的に評価することで高齢者を対象とした介護機器などの製品開発の基盤としたいと考えます。

1.2. 研究の目的：

遺体から皮膚の標本を採取し部位別に、加齢に伴う皮膚・皮下組織の変化について組織学的検討を行い、弾性線維・コラーゲン線維を定量化するための簡易な画像解析法の確立をめざします。

1.3. 被験者が被る利益・不利益、危険性等：

この研究に参加することによって被る、利益、不利益、危険性はございません。

2. 研究の方法

2.1. 研究対象：

平成26年4月1日～平成27年3月24日までに岡山大学に献体をされた方を対象に行います。

2.2. 研究期間：平成27年6月開催の倫理委員会承認後～平成30年3月31日

2.3. 研究方法：

生前に研究目的使用の同意を得た解剖体から皮膚・皮下組織を採取し、標本を作成し、必要に応じて染色を行い結合組織成分の変化をダーマスコープ、光学・電子顕微鏡など観察し、画像解析を行い定量的に評価します。

2.4. 調査票等：

故人の個人情報は削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

2.5. 情報の保護：

調査情報は岡山大学医歯薬学総合研究科人体構成学内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科人体構成学

職名：助教 氏名：百田 龍輔

電話：086-235-7091 ファックス：086-235-7095